

『競馬場の中に水鳥が集まってくる池があるんだって。おまけに隣は戦国時代の城跡らしいよ。』

令和8年4月11日(土)
さいたま支部ペガサス分団

浦和競馬場は1940年昭和15年に造られた浦和記念公園に、廃止された粕壁競馬場が移転する形で1947年昭和22年に造られました。今は競馬場の内側に公園がある形状になっています。そのためこの公園は競馬が開催される日は利用できません。競馬場の中の浦和記念公園の中央を藤右衛門川が流れています。藤右衛門川は競馬場の上流は暗渠になっていますが競馬場内は蓋がありません。また公園内には藤右衛門川に沿って洪水時の増水を貯める調節池が造られています。ここには多くの水鳥が集まってきます。このように浦和競馬場は元は藤右衛門川沿いの広大な窪地で一面の水田でした。

この窪地には巨人伝説が残っています。この窪地はダイダラボッチという巨人が歩いた時の足跡びできたと言われています。そのためこの辺りの地名は太田窪(だいたくぼ)というのだそうです。また、武蔵浦和近くの白幡沼は別名拳が池(こぶしがいけ)と言い、ダイダラボッチが手を着いた跡にできたと言われています。

浦和競馬場の東の台地上には戦国時代の城跡があります。赤塚城(東京都板橋区)城主の千葉氏が所領の一つである太田窪に、家臣の木内右衛門に命じて造らせた陣屋の跡です。今は太田窪堀之内と言われています。開発が進み、土塁とみられるものがわずかに残る程度ですが、城の表鬼門と裏鬼門となる場所に神社が今でも残っています。そのため、地形と合わせるとおよその城の範囲がわかります。鬼門除けの神社仏閣としては、京都の比叡山延暦寺と石清水八幡宮、江戸の上野寛永寺と神田明神、増上寺と日枝神社があります。

1 期日 令和8年4月11日(土)

☂ 雨天、交通事情の混乱があった場合等は中止します。

2 集合 浦和駅東口市民広場(パルコ前) 午前9時30分

※ 市民広場は東口から徒歩1分です。

3 解散 南浦和駅東口 午前12時30分頃

4 自然観察ウォーキング 全行程約4.1km

浦和駅東口市民広場→前地通り→浦和競馬場調節池→千葉神社→太田窪堀之内跡
→太田窪熊野神社→浦和競馬場入口→大谷場小学校→御嶽公園→南浦和駅東口駅

※ 天候等により、当日になって行程を変更することもあります。

5 持ち物

クリップボードまたは探検バック、セロハンテープ、帽子、水分補給用の飲料、雨具、
持っていれば双眼鏡

6 その他

- ペガサス分団活動では資料を用意する関係上、参加人数を把握するために事前の申し込みをお願いしています。
- 小学4年生以下の児童には、保護者の方の付き添いをお願いいたします。
- 団体行動です。1人で行動してはいけません。用事がある時はリーダーと一緒に行ってもらいましょう。
- 危険な物(刃物・ライター・モデルガン・薬品類など)、周囲に迷惑をかけやすいもの(大きな音のするものなど)、ペット等は持ってきたり連れてきたりしないでください。
- 天候、交通事情、参加者の健康状態等で行程を変更することもあります。